

木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会
第14回 協議会 議事概要

開催日時：令和5年5月10日(水)16:20～17:20

開催場所：名張産業振興センター・アスパア

【出席者】

＜木津川上流部大規模・土砂災害に関する減災協議会 構成員＞

津市	津市長（代理：危機管理部防災室長）
名張市	名張市長
伊賀市	伊賀市長
笠置町	笠置町長
南山城村	南山城村長
宇陀市	宇陀市長（代理：総務部危機管理課長）
山添村	山添村長
曾爾村	曾爾村長
御杖村	御杖村長
三重県	伊賀建設事務所長
三重県	伊賀地域防災総合事務所長
三重県	津建設事務所長
三重県	津地域防災総合事務所長（代理：県民防災課長）
京都府	山城南土木事務所長（代理：技術次長）
奈良県	奈良土木事務所長（代理：調整員）
奈良県	宇陀土木事務所長
木津川ダム	総合管理所長
津地方気象台	台長
奈良地方気象台	台長
木津川上流河川事務所	事務所長
紀伊山系砂防事務所	事務所長

1. 開会

- ・名張市長より挨拶
 - 本日はさまざまな事例を発表していただきながら、課題やうまく進めている事例を共有して具体的な実のある議論にしていきたい。

2. 審議

(1) 減災対策協議会規約の一部改訂について

- 木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会の規約において、奈良県組織改正による変更、淀川流域治水協議会規約に基づく構成員に地方気象台を追記した。本文に変更はなし。
- 出席者から異議はなく、規約改定は承認された。

(2) 減災対策協議会の経緯と木津川上流部の取組方針

- ・減災対策協議会の今までの経緯と木津川上流部の取組方針について、事務局より説明を行った。

3. 情報交換・意見交換

(3) 参画機関からの情報提供

- ・津地方気象台より防災気象情報の改善策と取組について、また、事務局より流域タイムラインについて情報提供を行った。
- ・各機関からの意見は以下のとおり。
 - 伊賀市は府県を跨いで気象情報を取得している地域であり、気象庁で定めている予報区域による情報では、必要な情報が十分に得られないため、防災上、大変懸念される。具体的には、天気は西から東へと移り変わっていくので、例えば笠置町さんでは晴れてきたと思っても伊賀地方で大雨警報が出ていて、1～2時間後には笠置町での水量が増えてくるといったことがある。NHKも同様だが、なぜ三重県北中部という括りで予報を出すのか。なぜ伊賀地方という括りで天気予報が出せないのか。実態に即した情報提供をお願いしたい。(伊賀市)
 - 名張市も伊賀市と同様な条件であるため、課題として今後ご検討いただきたい。(名張市)
 - 降水予測の精度の向上について、スーパーコンピュータを稼働しているとのことで、2時間先の予測にも反映されているのか教えていただきたい。(紀伊山系砂防事務所)
 - 流域タイムラインについて、対象が直轄区間となっており、直轄区間より上流に位置する市町村が含まれていないので、流域のタイムラインを考えていただきたい。(御杖村)

(4) 実効性のある避難に向けた取組

- ・実効性のある避難に向けた取組をテーマに、名張市、伊賀市、宇陀市、曾爾村から令和4年度の取組内容について情報提供を行い、それらを踏まえて意見交換を行った。
- ・各機関からの意見は以下のとおり。

- 各自治体の避難ツールについて教えていただきたい。名張市では、ダム of 事前放流のサイレンを流した際、他の危険の察知として問い合わせがきたことがあったので、広報手段が非常に大事だと考えている。昨年数年ぶりに全員が集まって防災訓練を実施したが、スムーズに作業が実施できなかった。訓練というのは、常に毎年毎回繰り返すということが非常に大事であると感じている。また、災害対策本部を立ち上げるに当たって、危機管理室の者が不在でも、災害対策本部が立ち上げられるような訓練の取組も進めていきたい。(名張市)
- 土砂災害警戒情報の発表の通知が事実情報にとどまっていることに問題意識を感じている。防災情報の発表とともに逃げなきゃという気持ちにさせるような出し方の工夫が必要である。(紀伊山系砂防事務所)
- 伊賀市の防災・情報アプリ Hazardon では、プッシュ型で情報が発信される。避難情報を受けた者は、伊賀市水害ハザードマップに従い事前に決めた安全な場所へ分散避難するよう啓発している。(伊賀市)
- 山添村でも4月から防災・情報アプリを導入している。このアプリではマークを押すと、避難場所までの道順が出るようになっている。村でアプリを作り、コストがかかった。流域で共有できるようなアプリを国主導で作成していただいて、伊賀市や山添村のアプリにも共有できるようにしていただけるとありがたい。(山添村)

(5) その他

- 昨年もお願ひしたが、会議資料について、紙媒体だけではなくて、タブレット等に入れたら動画も見られて、非常にわかりやすい話し合いができると思うので、導入の検討をお願ひしたい。(山添村)

(6) 閉会

- ・ 木津川上流河川事務所長より挨拶
 - 平成25年9月の台風18号の災害発生時は、まだ上野遊水地が工事中で、川上ダムは検証中という時代だったが、現在は川上ダムもでき、浅子川水門、浅子川の整備も進んでいるという状況になっている。
 - 気候変動に対応した新たな治水として、流域治水の取組も進んできたところであり、本日ご意見があった役立つ防災情報の共有やアプリの開発等、できることにしっかり取り組んでいきたい。

以 上